## 2.「地形」　中海・宍道湖の周辺の地形

19

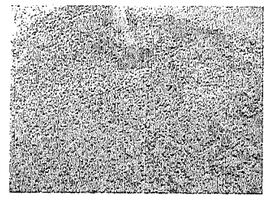
斐伊川と出雲平野（斐川平野）

斐伊川が運搬した土砂は宍道湖を埋め立てて出雲平野（斐川平野）をつくり拡大し続けてきた。

## 2.「地形」　中海・宍道湖の周辺の地形

20

2008.1.19 斐伊川 出雲市南神立橋
読売新聞福岡版（三瓶解説記事）

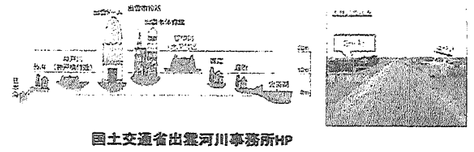


2008.1.23 斐伊川 出雲市南神立橋
の粗砂（三瓶撮影）

## 2.「地形」　中海・宍道湖の周辺の地形

21

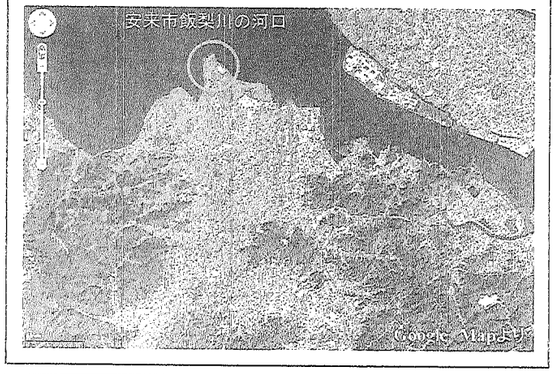
斐伊川は天井川



国土交通省出雲河川事務所HP

## 2.「地形」　中海・宍道湖の周辺の地形

22

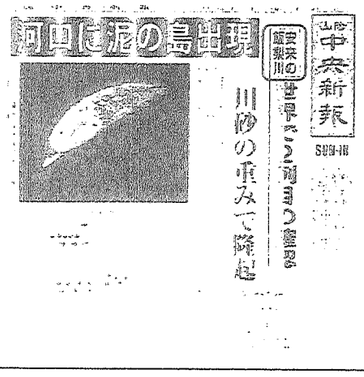



## 2.「地形」　中海・宍道湖の周辺の地形

23

マッドランプ

1991年

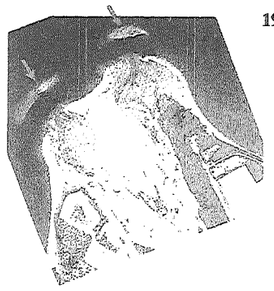



## 2.「地形」　中海・宍道湖の周辺の地形

24

マッドランプ

1991年3月



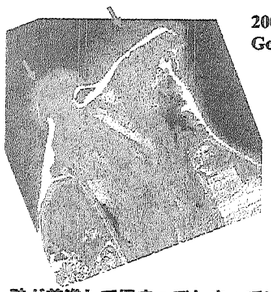
砂を多く運ぶ飯梨川（泥の上に多量の砂が載ってできたマッドランプ）

御岡・山内・三瓶・吉田（1994）より

## 2.「地形」　中海・宍道湖の周辺の地形

25

マッドランプ



2009年？
Google Map

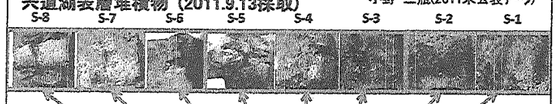
その後は、砂が前進して埋まってしまっている

## 3.「湖底環境」　宍道湖

26

宍道湖表層堆積物（2011.9.13採取）

小野・三瓶(2011未公表データ)




明褐色で3mm程度の明瞭な酸化層あり。

黒色で僅かな酸化層あり。

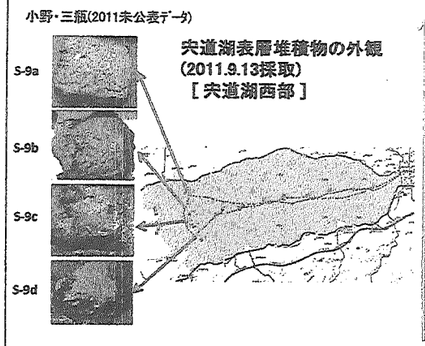
暗灰色~黒色で僅かな酸化層あり。

| S-8 | S-7 | S-6 | S-5 | S-4 | S-3 | S-2 | S-1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 褐色 | 褐色 | なし | 褐色 | 褐色 | 灰色 | 黄色 | 黄褐色 |
| 黒色 | 黒色 | 黒色 | 黒色 | 黒色 | 黒色 | 黒色 | 黒色 |
| | | 暗黒褐色 | 暗黒褐色 | 暗黒褐色 | 暗黒褐色 | 灰色 | 明灰色 |

## 3.「湖底環境」　宍道湖

27

小野・三瓶(2011未公表データ)



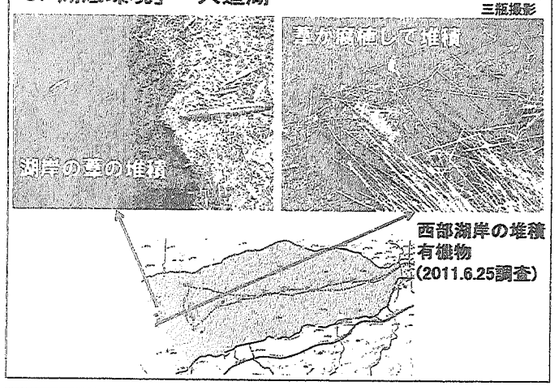

宍道湖表層堆積物の外観
(2011.9.13採取)
［宍道湖西部］

北部に向かって、酸化層は暗灰色から褐色に変化している。

## 3.「湖底環境」　宍道湖

28

三瓶撮影

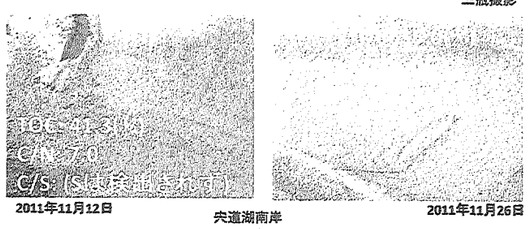



西部湖岸の堆積有機物
(2011.6.25調査)

## 3.「湖底環境」　宍道湖

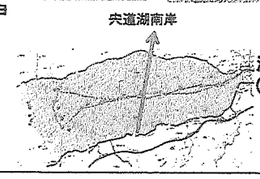
29

三瓶撮影




2011年11月12日　　2011年11月26日

宍道湖南岸



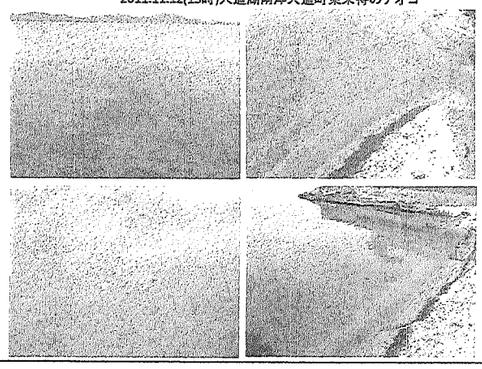
湖岸のアオコ堆積物
(2011.11.12-26調査)

## 3.「湖底環境」　宍道湖

30

三瓶撮影

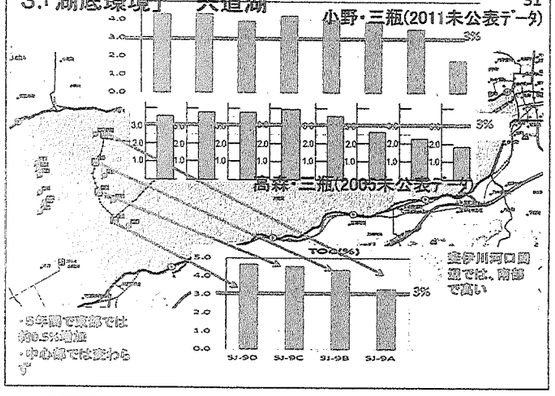
2011.11.12(13時)宍道湖南岸宍道町東来待のアオコ



## 3.「湖底環境」　宍道湖

31

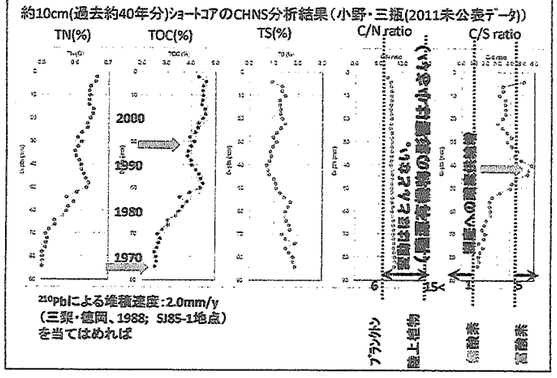
小野・三瓶(2011未公表データ)




## 3.「湖底環境」　宍道湖

32

約10cm(過去約40年分)ショートコアのCHNS分析結果（小野・三瓶(2011未公表データ)）

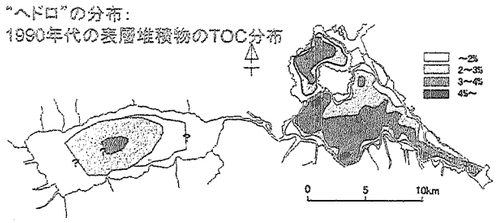



$^{210}$Pbによる堆積速度：2.0mm/y
（三梨・徳岡、1988；SJ85-1地点）
を当てはめれば

## 3.「湖底環境」　宍道湖と中海

33

"ヘドロ"の分布：
1990年代の表層堆積物のTOC分布



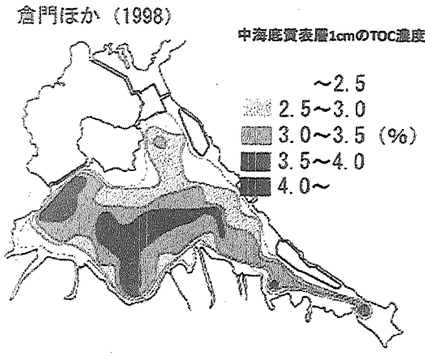

三瓶ほか（1992），倉門ほか（1997）および三瓶ほか（1999）をコンパイル

ヘドロは植物プランクトン有機物＝二酸化炭素が光合成で固体になったもの（$CO_2$を減らす）

## 3.「湖底環境」　中海

34

倉門ほか（1998）

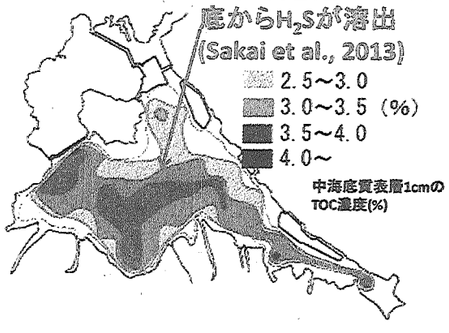



## 3.「湖底環境」　中海

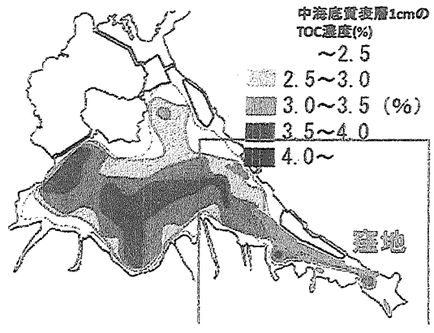
35

倉門ほか（1998）

3%程度を超えると湖底から$H_2S$が溶出
(Sakai et al., 2013)




## 3.「湖底環境」　中海

36

倉門ほか（1998）